

公募仕様書

1. 件名

中東・ロシア・CIS（石油・ガス産出国等）におけるカントリーリスク調査

2. 背景、目的

カントリーリスクの分析に当たっては、新興国の成長に伴う需要増による資源価格の高騰、国際的な資源エネルギー源獲得競争の激化、北米で進むシェールガス革命等をもたらす、資源エネルギーを巡る国際環境の大きな変化を的確に捉えることが求められる。

中でも石油・ガスの主要な生産国は、中東・ロシア・CISの一部に偏在している。これらの国は、「アラブの春」後の揺り戻しと不安定な政局・治安、欧米諸国や周辺国との間の政治的緊張等が指摘され、いずれも地政学的リスクを抱える、また一般的に入手可能な公開情報が限られる等、カントリーリスクの分析が難しい地域である。当該地域の分析に当たっては、資源エネルギー動向に関する専門的知識の蓄積に加え、現地語にも精通した専門家の有する知見の吸収が不可欠である。

本件公募によるカントリーリスク調査の目的は、石油・ガスセクターを初めとするこれらの地域特有のリスク要因を専門的見地から抽出し、以て日本貿易保険（NEXI）におけるカントリーリスク判断に活用することを主眼としている。

3. 実施内容

①本調査の対象地域は、以下の通りとする

中東・ロシア・CIS（石油・ガス産出国及びパイプライン通過国等）

②調査報告を以下の要領で実施する

- ・ 契約期間中に6回実施（NEXIが指定する国又は地域）することとし、そのうち少なくとも4回は調査報告会を開催するものとする（残りの回は調査報告書の提出による代替可）。
- ・ 報告においては、政治及びエネルギー経済分析を中心に、世界屈指の研究機関等のハイレベル専門家との意見交換等を反映すること

③その他調査事項

- ・ 基本的に現地語で報道されるカントリーリスク情報の選定及び翻訳（少なくとも月2回、A4 2~3枚）。例えば、NEXIが事前に提示した対象国の「対外債務」、「国際収支バランス」、「外貨準備」、「外貨規制」、「投資環境」、「治安」等に関する情報。
- ・ 政変やテロ等の突発的事象発生時において、現地紙や電話インタビュー等による背景及び見通しを含めた情報提供（NEXIの発注に応じ適宜対応）。

- ・ イラン制裁の整理（国連/米国/EU 等が各々何を対象に実施しているか）（更新時）
- ・ 各種油価及び LNG 市況の整理（一覧表化）及び予測（毎月）。また、予測をベースにした対象国の輸出・輸入等、国際収支、財政収支の予測

④ 要件

調査の要件を以下とする。

- ・ 中東・ロシア・CIS の地域情報とエネルギー情勢に基づきカントリーリスクを総合的に分析すること（資源エネルギー需給の定量的な将来見通しに基づく経済分析を含む）
- ・ 類似の調査・分析の実績や本調査に必要な知見を最大限活用すること
- ・ 現地研究機関、識者等との協力、現地語資料を最大限活用した分析及び報告を行うこと
- ・ 地域研究またはエネルギー産業を専門とした国際的な機関を活用した情報収集および意見交換等を反映した報告を行うこと（例：英王立国際問題研究所、OPEC 等）

4. 成果物

調査報告書及び関連資料の電子媒体 一式

- ・ 委託先による調査結果を主に報告会形式により報告し、質疑応答と意見交換を行う。
- ・ 調査報告資料及び関連資料等文書は NEXI に納品することとする。

5. 実施期間

契約日から平成 27 年 3 月 31 日まで

以上